

## リーディング大学院認定式 リーディング大学院生代表挨拶

本日は、リーディング大学院生のためにこのような認定式を催していただき、誠にありがとうございます。

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムでは25名の大学院生が一期生として選出されました。課題に果敢に挑戦し、新地平を切り開くグローバルリーダーとなるべく、志を高く持ち、鍛錬していきます。

東北大学では、世界レベルの多数の研究者が社会に多大な貢献を果たしてきました。その多くは、特定の研究領域で最先端の知見を、更に深化させて目標に迫るものでした。このような鋭い志向性を持つ人財は、今後も社会に必要とされていきます。一方で、このように「線」で物を見ると、その線上では正解であっても、全体としては正解とは言えない研究結果を生み出す恐れがあります。そういった研究と現場でのミスマッチを防ぐためにも、私たちは、注目している物質が置かれる状況を俯瞰的に把握し、迅速かつ適格に社会のニーズに対応できるリーダー的人財になりたいと考えています。

さらに、プログラムでは産学連携組織を介した企業との協力を取り入れています。これまで私たちは、このように企業の方と密に共同研究をする機会はありませんでした。この素晴らしい経験を通し、自分の研究がどれだけ社会の役に立つかということ、自ら実証する努力をしていきます。

また、お互い違う専門を持つ学生同士と切磋琢磨できることも、重要だと考えています。この先の5年間、たまには衝突することもあると思いますが、協力して課題に挑戦していき、真のグローバル人材となるべく成長していきます。

最後になりましたが、プログラムコーディネーターの長坂先生をはじめ、プログラムの運営にご尽力なされている方々に深く感謝の意を示し、プログラム履修生代表挨拶とさせていただきます。

平成26年4月1日

理学研究科 物理学専攻

黒子 めぐみ